

平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		081215		母子歯科保健指導事業		担当部課	部課コード	081200	04-2991-1813
事業コード		081215		母子歯科保健指導事業		健康づくり支援課			
開始年度		昭和51 年度		終了年度		年度			
グループ		栄養・歯科G							
事業の概要	事業の種類	自治事務		法定受託事務		法定受託 + 附加		根拠法令	
	分野別計画・指針	所沢市次世代育成支援行動計画							
	関連・類似事業	母子保健法・児童福祉法							
	総合計画の体系	章	健康・福祉	節	保健・医療	基本方針	生涯を通じた健康づくりの推進		
事業開始の背景	母子保健法の制定により、母子歯科保健水準の向上を図ることから開始された。								
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)								
	妊娠中及び乳幼児期から歯科保健知識の普及や情報提供を行ない、口腔の健康の保持増進を図る。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	8,476	人			
	妊婦及び配偶者、乳幼児とその保護者で本事業に申し込んだ者、保育園・障害児施設の園児、一般市民参加者			平成 27 年度	8,530	人			
事業の具体的な内容及び実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ・2歳児歯科健康教室: 歯科健診、歯科保健指導、フッ化物塗布 ・3歳児フッ化物塗布: 歯科健診、歯科保健指導、フッ化物塗布 ・保育園歯科保健指導: 歯科健診、歯科保健指導、エプロンシヤター ・障害児歯科保健指導: 歯科健診、歯科保健指導 ・歯と口の健康週間行事: 歯科検診、歯科保健指導、フッ化物塗布 (2歳～未就学児の許可者)、フッ化物洗口(小学生の許可者) ・離乳食教室: 歯科保健指導(講話)、母親学級: 歯科健康診査、歯科保健指導 ・乳幼児健康相談、歯科相談: 歯科健康相談、かみかみ期相談、離乳食と歯のお話サロン 								
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)			
	予算現額			9,900	9,968	10,032			
	決算(見込み含む)			9,572	9,557				
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	(人)	(2.00 人)	(人)	(2.00 人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。			
	正規職員人件費	0.63 人	5,494	0.63 人	5,456				
	事業費合計			15,066	15,013				
財源内訳	一般財源			15,066	15,013	10,032			
国・県支出金			0						
その他()			0						
実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標		
	参加者数	各事業の参加延べ人数	人	7,403	7,398	7,400	8,000		
	活動実績								
成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標		
	成果指標	受診率	%	目標値	100	100	100	100	
	実績			実績	87	87	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」拡大図	<input type="checkbox"/> 「実績」縮小図	
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	87	87	どちらかをチェックしてください		
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)				(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析				
	母親学級(歯科)、2歳児歯科健康教室は、申し込みを電話・窓口に加え、電子申請でも可能とした。 2歳児歯科健康教室の申込者は、平成26年度と比較して115名増加した。				口腔の健康の重要性と歯科事業の周知について、あらゆる機会をとらえて行う必要がある。				
評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	口腔の健康の保持増進を図るため、今後も参加者のニーズを的確に捉え、事業内容の改善・効率化を図っていく。			
	評価		次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	妊娠中、乳幼児期からの歯科知識の普及を推進していく上で重要であり、引き続き実施していく必要がある。			
備	(1)平成28年度に取り組んでいる状況				(2)今後の方向性				
	妊娠中及び乳幼児期からの口腔の健康保持増進を図るため、歯科保健指導事業を継続していくことが重要である。また、乳幼児健康診査未受診者に対しては、歯科相談の案内を行うなどのフォローが必要である。				妊娠中及び乳幼児期からの口腔の健康保持増進を図るため、歯科保健指導事業を継続していくことが重要である。また、乳幼児健康診査未受診者に対しては、歯科相談の案内を行うなどのフォローが必要である。乳幼児期からの歯と口の健康の大切さについて、啓発をさらに充実させていく。				
	評価日	H28.8.12	評価者職氏名	健康づくり支援課 課長 洲江 弘行					
環境影響	有益な環境影響			有害な環境影響を及ぼす原因活動	文書の作成、医療廃棄物の排出	規制を受ける環境法令等	無	緊急事態	無